

今日の力

J・W・ロバーツ 1971

5月8日(火)

テーマソングを変えましょう！

聖書朗読 詩篇 107：1～9

私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたてられますように。神はキリストにあって、天にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。
エペソ 1：3

「誰の人生にも雨がふることはある。でも私の人生はいつも雨ばかり」。この有名な古い歌の一節は、まさに私たちの多くが思っていることです。失望、悲劇、挫折が私たちを襲った時、この歌を口ずさみます。

自分の問題を他の人のものと比べることで自分を慰めることがあります。周りを見渡せば自分より不幸な人をすぐに見つけることができます。しかし、この方法だと結局、最後は自分より不幸な人を助けるために何かすべきでないかという気まずい気持ちになって終わり、良心が痛みます。この状況から逃れるため、今度は急いで自分を憐れむのです。

この自己憐憫のアプローチは、決して良いものではありません。私たちが必要なのは、新しく、そして前向きになる「テーマソング」です。

「主は素晴らしい」はどうでしょうか？ 歌詞をかみしめて歌いましょう。それか「主の慈しみは絶えることはない」を試してみてください。この歌を覚えましょう。トラブルに襲われたとき、この歌を歌ってみましょう。癒しと希望に満ちた美しく幸せな言葉たちは、私たちの人生をより幸せに、より美しくするだけでなく、周りの自分より幸せではない人々に対する私たちの行いや態度を変えてくれます。さあ、歌いましょう！

讃美歌 9

祈り 親愛なる主。あなた様がいつも私たちに表して下さっている豊かな恵みに気づき、心から感謝できますようお助けください。
イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ビル・ヤング 1974

5月9日(水)

とこしえの祭司

聖書朗読 詩篇 110篇

主は誓い、そしてみこころを変えない。「あなたは、メルキゼデクの例にならい、とこしに祭司である。」
詩篇 110：4

下士官兵であった私には、とても特別な存在となった師団長がいました。その師団長は私が始めようとしていたプロジェクトのために何度か上官たちとやりあってくれたのです。師団長が退職した日、私は師団長がいない虚しさを感じたことを覚えています。私は大切な仲裁役を失いました。

キリストにあって、私たちは決して退職しない、決して休暇を取らないとりなしの御方の恩恵を受けています。キリストはとこしえに祭司です。神はみことばでこの事実を確かにし、そしてそのみこころを変えることはありません。さらに、我が祭司は、全権の神といつでもつながることのできる神の右の手に座っておられます。

この師団長が退職してしまった後、私が考えたプロジェクトは上官に聞き入れてもらうことはありませんでした。

私は一度もキリストに失望したことはありません。でも、夜も昼も、キリストは恵みの御座の前で私の代弁者となってくださいます。望みをはっきりと言葉にできないときでさえも、イエス様は私たちのためにとりなしてくださるのです（ローマ 8：26）。イエス様は私の祭司ですので、私はいつでも、すぐに神に会うことができるのです。

讃美歌 312

祈り お父様。私のためにいつもあなた様に伝えてくださる祭司の慈悲深いお働きに感謝いたします。
イエス様の御名によって。アーメン。

マイケル・C・アーマー 1987

5月10日（木）

だれが主、我が神に似ているでしょう？

聖書朗読 詩篇 113 編

初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。・・・
すべてのものは、この方によって造られた。・・・ことばは人となって、・・・

ヨハネ 1：1, 3, 14

宇宙を出現させ、永遠の住まいに住んでおられる我が神は、愛の権化であり、
力ある者の子らの賛美と崇拝すべてに値する御方です。全てにおいて神の威光に
勝るものではありません。

なぜこのような偉大な方が卑しい者を気にかける必要があるのでしょうか？
なぜ「高い御位」の方が、苦しんでいる罪深い人々を癒すためにこんなにも謙虚
でおられるのでしょうか？ どのようにしたらひとり子をお与えになるほど私たち
を愛することができるのでしょうか？ 思いつく唯一の説明は、『神は私たちに
対するご自身の愛を明らかにしておられます。』です。（ローマ 5：8）

神は確かに私たちを気にかけておられます。神は偉大な犠牲、御子の血によ
って、私たちの罪を洗い清めてくださいました。神は私たちを神の子としてくだ
さいました。神は私たちの祈りにこたえてくださいます。神はすべてのものを与
えてくださいます（マタイ 6：33）。

毎日、私たちは神・父、御子イエス・キリストを賛美したいと思っています。
私たちの口で、私たちの命をもって主を賛美いたします。日々、私たちの体を生
ける供え物として捧げます。

主は素晴らしい、主は素晴らしい、主は素晴らしい、
主は素晴らしい、私の主。

讃美歌 461

祈 り ああ神よ。あなた様の威光と栄光を賛美いたします。あなた様の愛
と、思いやりに感謝いたします。私たちの命の実をあなた様に捧げ
ます。

イエス様の御名によって。アーメン。

リン・ロジャース 1971

5月11日（金）

イスラエルがエジプトから出たとき

聖書朗読 詩篇 114 編

いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。

マタイ 7：14

前の車のバンパーに貼ってある古いステッカーにはこう書かれていました。
「霧の中を進め」。C・S・ルイスは、すべての人は人を前後不覚に陥れる霧の中で
迷っていると言いました。私たちが「一番大切なもの」を見失ってしまっている
からでしょうか。私たちの文化では、財産、政治、利己的な行為、芸能やスポー
ツが最も大切なものになることがあります。霧があまりに濃いため、私たちはそ
れが注意を注ぐ唯一のものと思い、その先にある本当に大切なものを忘れていま
す。今日の詩篇では、水、山、地といった決して動くことのない自然が、エジプ
ト脱出の際、民のために主が動かされたと語られています。

私たちはより信仰を深めることを、そして最も大切なもの、神のうちに生き
るということを忘れてはなりません。常に神を思い続けることでのみ私たちは生
きる意味を知ることができます。もし違う方向に進んだ場合、たとえそれが約束
された道のように見えたとしても、その道の始まりの門は広く、その道は下へ下
へと続きます。もし迷ったら、目の引く魅力的なものに振り回されるのではなく、
変わることもない御方のみこころに従って判断、決断をしましょう。

讃美歌 第二編 64

祈 り お父様。永遠の命に続く道が最後まで見えるよう、私の視界をはっ
きりさせてください。そして迷わずその道を進めるようお助けくだ
さい。

イエス様の御名によって。アーメン。

トニー・アッシュ 1977

5月12日（土）

我が魂よ，主をほめたたえよ

聖書朗読 詩篇 103：15～22

東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちから遠く離される。
詩篇 103：12

詩篇の著者は、神がいかにいつくしみ深い方であるかを知っていました。そして心から神を賛美しました。「父よ、あなた様は私を赦し、癒し、贖い、愛し、そして私の望みを満たしてください。あなた様は恵み深く、あわれみの御方です」。

私たちもまた、お願いの祈りではなく、わが父が与えてくださっている慈しみに感謝する祈りの時を持ちましょう。この感謝にあふれた日に、親が私たちにくれた愛のリストを作ってみるのもいいかもしれません。そしてそのリストを親と分かち合い、そのリストをさらに埋めましょう。もし、あなたが親と離れているのなら、手紙を書きましょう。電話をかけましょう。親は年を取ればとるほど、私たちの愛が必要となります。

子どもには親の愛が必要です。恥ずかしがらず、恐れることなく言いましょう。現在、私の一人息子はケニヤで伝道活動をしています。そしてちょうど昨日、彼に手紙を書いて、あなたの父と母はあなたとあなたの家族を誇りに思っていると伝えました。

あなたが感謝の気持ちを伝えるべき人はだれですか？

賜物すべてをあなたに与えてくださるあなたの父に言いましょう。そして他の人にも言いましょう！

讃美歌 191

祈り 愛するお父様。あなた様の愛に感謝いたします。他の人を愛すること
で私の愛を示すことができますように。
イエス様の御名によって。アーメン。

クラウド・A・ギルド 1977

5月13日（日）

偶像

聖書朗読 詩篇 115：1～8

ですから、私たちは、機会のあるたびに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう。
ガラテヤ 6：10

仏塔を見かけることはよくあり、特に古都の前で見ることができました。そしてその仏塔の横には寺院があることが多かったです。仏塔の中には金で覆われた大きな像があり、その前では多くの人々がひざまずき、祈り、線香を焚いていました。私はそれを見て不思議に思いました。ここはごく最近までいかなる宗教的慣習を禁じていた国、中国だったからです。そんななかでも偶像を拝む人はいたのです。

ダビデやソロモンの時代、イスラエルの人々は偶像についてよく知っていました。「エホバには会うことはできない」。この理解しがたい考えを近隣諸国の人々は笑いました。現在でも、会うことのできない主への信仰に基づいて行動するクリスチャンを笑う人はいます。

私たちは神のうちに生きることで、成功や、地位、権力、もしくは財産などの偶像は決して私たちに生きる力与えてはくれないと言い切ることができます。分かち合い、一体感、そして思いやりや愛のある関係は理想のクリスチャンコミュニティを証する極印です。

我が主が描かれた絵を私は持っていない。

主は木や石にその教えを刻まれなかった。

主は彫刻が施された墓も、手紙も残さなかった。

しかし、人の心の中に

主に対する賛美の気持ちを残した。

—— ウィリアム・ハード・ヒリヤー

讃美歌 452

祈り 主よ。お互いを見て、愛し合うことができるようお助けください。
イエス様の御名によって。アーメン。

チップ・モア 1984